

令和4年11月11日

総務文教委員会

阿久根市議会

1 会議名 総務文教委員会

2 日時 令和4年11月11日（金）

午前11時49分開会

午後0時12分閉会

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

濱田 洋 一 委員長、竹之内 和 満 副委員長、濱門 明 典 委員、
牟田 学 委員、岩崎 健 二 委員、濱之上 大成 委員、
野畑 直 委員

5 事務局職員

次長兼議事係長 上 脇 重 樹

6 会議に付した事件

陳情第14号 薩摩沖洋上風力発電計画に賛成を求める陳情

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

○陳情第14号 薩摩沖洋上風力発電計画に賛成を求める陳情

濱田洋一委員長

ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

この際、陳情第14号を議題といたします。

本日は、さきの委員会において、陳情者を参考人として招致し意見聴取を行った際、陳情者に対し提供を求めておりました陳情団体からの会員数及び陳情に同意した企業等が分かる資料が陳情者から提出されましたので、このことについて皆様方から御意見をいただきたいと存じます。

提出された資料につきましては、今月7日にペーパーレス会議システムにより配付しております。

また、提出された資料の陳情同意書について、同意されている企業等を業種ごとに分類し、集計しましたので、その結果も配付いたします。

その資料は、提出資料と同じフォルダまたは本日の会議から御覧いただけますので、御確認をお願いいたします。

なお、分類は、書記において知り得る範囲で、また、複数の業種にわたっている企業等の場合は主たる事業を推測して行ったものでありますので、あらかじめ御了承いただき、この資料の取扱いは慎重をお願いいたします。

それでは、この提出された資料に関して御意見をお伺いいたします。

濱之上大成委員

先ほど来、委員長もおっしゃったんですけどね、陳情14号を見ましたところ、前回、若松公洋さんをお招きしてお話も聞きました。そこで、代替エネルギーとして将来を見据えて、その稼ぐ力の向上とか、そういう波及効果は大事だということを連綿とお話しになったんですが、今後の代替エネルギーを考えたときに、これは大事な問題であると私は個人的には思っております。

そこで、この同意書等を見ましても、全員がそういう思いをしているということだけは理解できますので、早くこの要望を意見書として知事と県議会に出すという方向で賛同すべきであろうと私は思う1人であります。

岩崎健二委員

当市議会は、12名の賛同をもって次世代のエネルギー活性化議員連盟を組織し、新エネルギーに対しての調査研究を行うということになっております。その趣旨から言っても、この要望は非常に大事なものだと思っておりますので、私はこの陳情を採択し、意見書をできるだけ早く、知事、県議会に提出して、県より国に対して資料の提供をしていただくよう要望すべきだと思います。そのように考えておりますので、御賛同方をお願いいたします。

野畑直委員

前回の委員会の中で、陳情者の数が少し少ないようでありました。今回まとめて、たくさんの方が賛同者になって提出されております。

ただ、私が考えているのは、カーボンニュートラルを目指して、2050年ですか、そういう方向で進んでおりますけれども、この意見書については、採択しなければならないという考

え方ではいるんですが、この洋上風力については、各地で問題になってくると思うのですが、漁協の考え方というものは議論せずにこの意見書を提出していいものかどうか、皆さんの意見があればと思ってるいるのですが。

岩崎健二委員

今の野畑委員のことですが、もちろんこういうものについては賛成・反対は各種あるうかと思えます。

ただ、今回はまだ全く賛成・反対というような意見を出す時期にも到達しておりません。要望箇所として国が指定し、それから、そこに対して様々な賛成や反対派の陳情は今後も出てくると思えますので、これだけの多くの方の賛同をいただいて、あとは知事がどのように判断されるかというのは別問題ですが、私たち議会としては進めていくべきだろうと思っております。

ただ、漁協が反対を決議したということも聞いておりますが、これについては、また後日、いろんなこの陳情の1項目にありますように、諸団体との協議も進めていく必要は当然あるうかと思えますので、今回の件につきましては、賛成者の皆さんがこれだけのものがたくさん出て来ている以上、これに対して応えていくのが議会の役目じゃないかなと思えますので、そのように私は考えております。

濱田洋一委員長

それでは、ここで、休憩して協議をさせていただきたいと思えます。

(休憩 午前11時55分～午後0時4分)

濱田洋一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

先ほど来、各委員の皆様方の御意見をお伺いいたしました。

その中で出ましたのは、将来的なカーボンニュートラル、このことについてやはり進めていくべきではないかという御意見もありました。

そういった中で、やはり、今回出ております薩摩沖洋上風力発電計画、このことについて、まずは、県から国に対しての情報提供と有望な区域の指定ということで、そういった文を県から出してもらわないいけないと。

それに伴いまして、阿久根市議会からは、鹿児島県知事と県議会に対して、意見書の中身を確認した後、提出するかしないのかということにつきましては、第4回定例会の委員会の中で、改めて、その意見書等の内容等について、検証、審議をいただいて、採決の方向でよろしいということで皆様から御意見をいただきましたので、そのように決したいと思えますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

続きまして、先の委員会におきまして、御意見がありましたことにつきまして、御報告いたします。

先の委員会では、近隣の自治体や推進協議会等との意見交換会や勉強会を行ってはどうかというような御意見をいただきました。

このことにつきまして、本委員会の審査として、委員派遣により行うことは難しいと考えた次第でございます。

休憩に入ります。

(休憩 午後0時6分～午後0時10分)

濱田洋一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

ただいま、いろいろ御意見をいただきましたが、近隣自治体や推進協議会などの団体への調査等については、今回は行わず、今後、連携を図っていくために必要であれば都度行うということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決しました。

続きまして、陳情者からの陳情への同意書が提出された際の鑑文に12月議会における採択を求める旨の記載がありました。

このことについて、委員の皆様方の御意見をお伺いいたします。

御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

御意見がありませんので、御意見なしとさせていただきます。

それでは、今後の審査についてでございますが、第4回定例会の最終本会議までに終わらせることとなりますので、それを踏まえ、委員長において次回の日時を調整いたします。

なお、二つの陳情事項のうちの一つは、意見書の提出を求めるものであることから、このことについて採決すべきものとしたときには、意見書案の提案についても審議する必要がありますので、それを踏まえて調整いたしたいと思っております。

以上で、本日の総務文教委員会を散会いたします。

(散会 午後0時12分)

総務文教委員会委員長 濱田洋一